

岩瀬直子

大坪 修

木村 明

小島 誠

高橋 明

宮田高志

室 伸一

上越クリスタル硝子株式会社

株式会社ハルナグラス

# 群馬のガラス工芸

Contemporary Glassworks in Gunma

2012年1月7日[土]—3月25日[日]

主催：群馬県立近代美術館

協力：上越クリスタル硝子株式会社、株式会社ハルナグラス

会場：群馬県立近代美術館 2F展示室4

開館時間：午前9時30分—午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：月曜日（1月9日は開館）、1月10日（火）

観覧料：一般300円（240円）、大学・高校生150円（120円）

\*（ ）内は20名以上の団体割引料金。

\*中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料。

群馬県立近代美術館

THE MUSEUM OF MODERN ART, GUNMA

〒370-1293 高崎市綿貫町992-1 群馬の森公園内

TEL.027-346-5560 FAX.027-346-4064

<http://www.mmag.gsn.ed.jp/>

群馬県には1903年創業の株式会社ハルナグラス、1905年創業の上越クリスタル硝子株式会社と、ともに100年を超える長い歴史を持つガラス製造企業があります。その工場では、日々職人たちが手づくりで質の高い製品を作り出しています。それらは、器や道具としての機能と、色や形による美しさを、優れた技で実現させた作品であるということもできるでしょう。さらに、本県には個人として制作活動を行っているガラス作家たちがいます。これらの作家たちが手掛ける作品は、器などの工芸作品にとどまらず、ガラスの彫刻やレリーフ、

オブジェまで多岐にわたります。そこでは、伝統や常識にとらわれない自由な発想のもと、ガラスは作家たちの自己表現のための素材ともなっています。

この展示は本県で現在活躍中のガラス作家と企業に所属する職人の手による作品をご紹介します。透明感、輝く多様な色彩、硬さや冷たさを思わせる肌—これらガラスの特性を活かし、高度な技術とそれぞれの感性で形作られた作品をとおして、群馬県のガラス芸術の現在をご覧ください。

# Contemporary Glassworks in Gunma



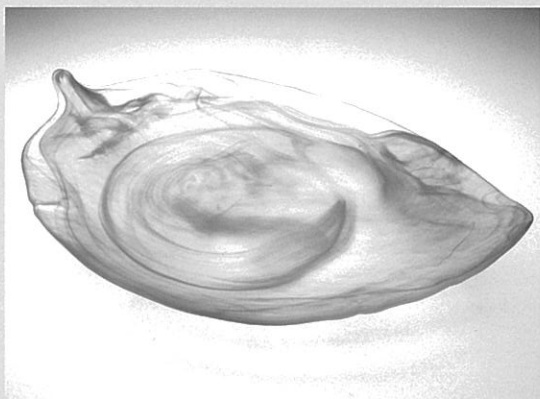
小島 誠 《道標(集)》 1999年



宮田高志 《金彩流線紋様コンボート》 2009年



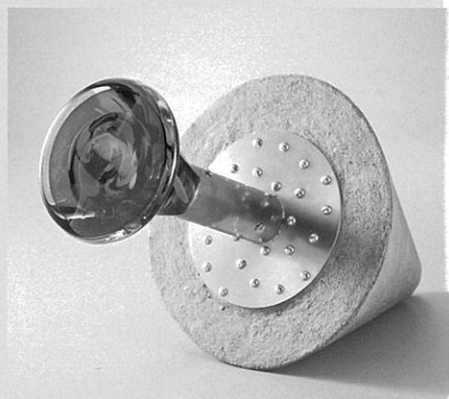
岩瀬直子 《cat in blue》 2011年



高橋 明 《手伸・葉大皿》 2007年



大坪 修 《金彩繚乱扁花瓶》 2008年



木村 明 《無題》 2011年



室 伸一 《芽吹き野の風たち》 2011年

## 関連事業

- 記念講演会 「現代のガラスアート」  
講師：由水常雄(美術史家、ガラス工芸家)  
1月28日[土] 14:00～15:30 当館講堂  
(無料・申込不要)
- 学芸員による作品解説会  
2月12日[日] 14:00～15:00 展示室  
(要観覧料・申込不要)

## 〈同時開催〉

- 「陶酔のパリ・モンマルトル1880-1910」  
12月23日[金・祝]～2012年3月25日[日]
- 〈群馬県立館林美術館のご案内〉  
「生誕100年 南桂子展」  
12月10日[土]～2012年4月8日[日]

## 〈交通案内〉

バス：JR高崎駅東口より、市内循環バス「ぐるりん」15系統岩鼻線「昭和病院行き」、10系統群馬の森線「中居団地先回り」、9系統群馬の森線「健大先回り」で、いずれも「群馬の森」下車(200円)。  
タクシー：JR高崎駅東口より約20分。JR新町駅より約10分。  
車：関越・上信越自動車道の「藤岡IC」高崎方面出口より出て、県道13号線を前橋方面に約10分。北関東自動車道の「前橋南IC」より、県道13号線に出て藤岡方面に約15分。県立公園「群馬の森」大駐車場をご利用ください。

